

# FUJIKURA NEWS

# 2

2021  
No.474

Fujikura Modern history -10

## 大阪万博や札幌オリンピックにケーブルを納入

昭和45年の大阪万博では三井グループのハビリオンに多くのケーブル技術を提供。46年には沖電気と業務提携し、情報化社会の進展に伴う通信システムの多様化に対応した。さらに豪雪地帯における送電線の着氷雪観測や、風による振動等の実験を続け、多くの新型部品を開発。

47年、東洋初の冬季オリンピックでは、札幌駅前から主競技場までの地下鉄ケーブル、NHK札幌放送局から全世界に衛星中継されたテレビ画像を送る通信ケーブルなど、過酷な自然条件下で使用できる通信ケーブルを一手に引き受け、大きな役割を果たした。



札幌冬季オリンピック 恵庭岳滑降コース

エネルギー  
情報通信

## 国土交通省 関東地方整備局「建設技術展示館」に フジクラグループのNETIS登録2製品を展示



12月2日にリニューアルオープンを迎えました国土交通省 関東地方整備局「建設技術展示館」の展示品に、当社と(株)フジクラ・ダイヤケーブルが共同で応募していました下記2点を採用頂きました。第15期リニューアル技術品として、今後2年間にわたり展示されます。

両社は今後とも持続可能な社会の実現を支える情報通信製品の提供を進めていきます。

- ・ NETIS登録番号【KT-190087-A】  
株式会社フジクラ  
「細径高密度型スロットレス光ファイバケーブル」
- ・ NETIS登録番号【KK-180001-A】  
株式会社フジクラ・ダイヤケーブル  
「発泡絶縁体形漏えい同軸ケーブル」

なお今回の技術展示館のリニューアルオープンテーマは、持続可能な社会の実現のための

- ★【Society5.0を実現する新技術】
- ★【防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術】

の2つになっています。

そして『見て』『触れて』『知る(学べる)』体験型施設となっていますので、ぜひお立ち寄りください。



※国土交通省 関東地方整備局 建設技術展示館  
<http://www.kense-te.jp/>

※アクセスについては下記をご参照ください。

〒270-2218 千葉県松戸市五香西6丁目12-1

下記最寄り駅からバスにて

・JR武蔵野線 新八柱駅 ・新京成線 八柱駅

<http://www.kense-te.jp/about/#accessmap>

光ケーブルシステム事業部 [telcon@jp.fujikura.com](mailto:telcon@jp.fujikura.com)

フジクラ・ダイヤケーブル <https://www.fujikura-dia.co.jp/contact/>

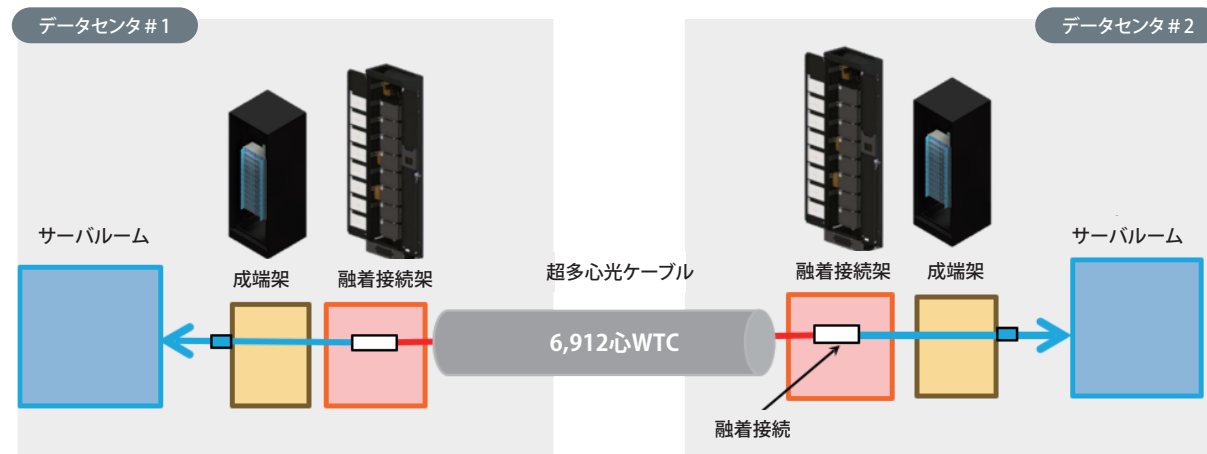
## データセンタ間 二つの超多心配線ソリューション

近年動画配信・クラウドサービス等の利用拡大によりデータトラフィックは日々増大しています。これに伴いデータセンタは大規模化し、その効率的かつ経済的な通信網構築が重要な課題となっています。当社はこれまでに大容量・高速データ通信に対応可能な3,456心及び6,912心の超多心光ケーブルWrapping Tube Cable®(WTC®)を上市してきました。

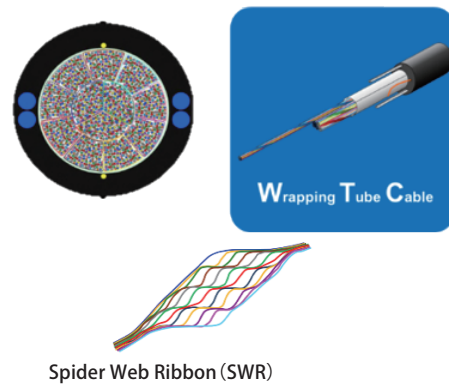
一方で使用する光ケーブルの超多心化に伴い、その接続・分岐作業の効率化と収容の高密度化が以前にも増して求められています。このため、当社は超多心光ケーブルの導入とともに、高密度収容技術と施工工数の削減のためのソリューションを提供してきました。

### 超多心光ケーブルによる配線方法

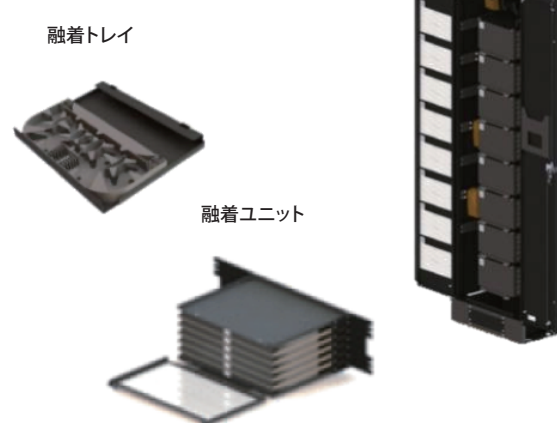
- ・最大13,824心の収納芯数
- ・従来の約2倍となる光ファイバの高密度配線・収納性能
- ・融着作業時間を従来の5分の1まで短縮



#### ● 超多心光ケーブル (WTC)



#### ● 超多心光ケーブル用融着接続架



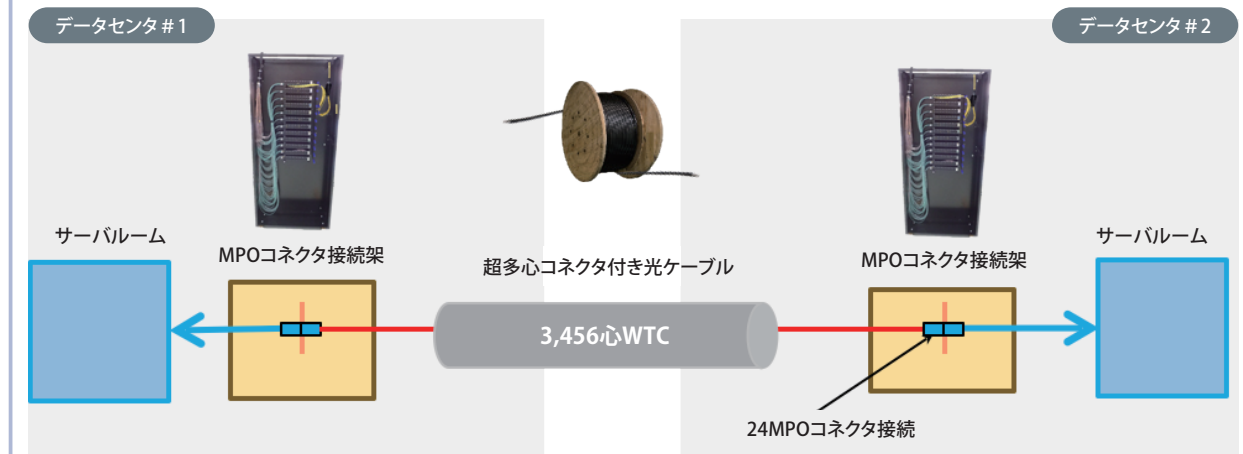
## 超多心コネクタ付き光ケーブルのご紹介

これらは間欠リボンファイバSpider Web Ribbon®(SWR®)のコンパクト収納性を生かした光ファイバ収容トレイおよび架内配線収納、複数人同時融着作業可能な構造をとることにより実現したものです。

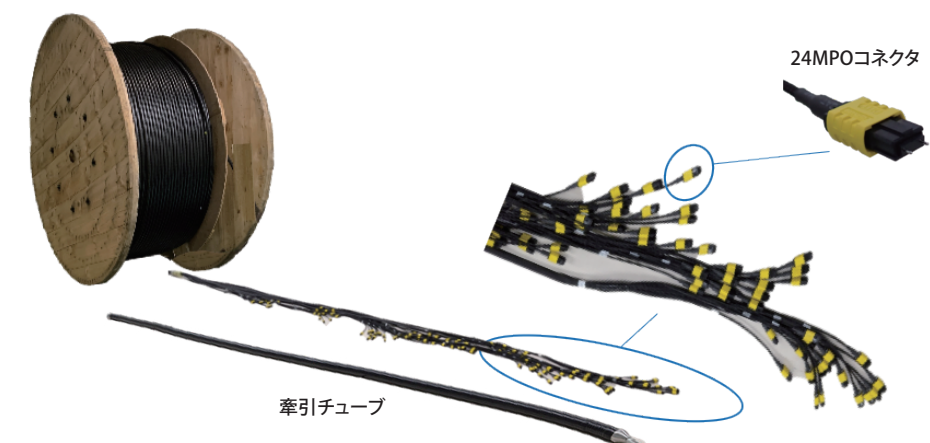
超多心コネクタ付き光ケーブル・ソリューションはすでに一部データセンタ事業者で導入が始まっており、今後世界各地での導入が検討されています。光ファイバケーブルの超多心化の要求はこれからも続くことが想定され、当社は引き続き超多心化・細径化を目指すとともに、さらなる配線ソリューションの開発を進めていきます。

### NEW 超多心コネクタ付き光ケーブルによる配線方法

- ・両単末端に取り付けられたMPOコネクタにより、敷設後直ちに装置に接続が可能
- ・MPOコネクタを保護する牽引チューブにより厳しい施工環境においても敷設可能
- ・細径かつコンパクトで、すでにケーブルの敷設されたダクトの中に追加敷設することが可能



#### ● 超多心コネクタ付き光ケーブル



お知らせ

## BRIDGEのQoLオンラインセミナー開催



イノベーションハブ「BRIDGE」の役割の一つが、イノベーション文化の醸成です。

BRIDGEはこれまで社内外の多様な方々との交流を促進し、組織の枠を超えたコラボレーションが生まれるコミュニティを形成してきました。

しかしコロナ禍を受け、これまでと同じ進め方で価値共創を進めることが困難になりました。リモートワークといった新たな働き方にも直面し、イノベーション文化の醸成はより難しいものとなりました。

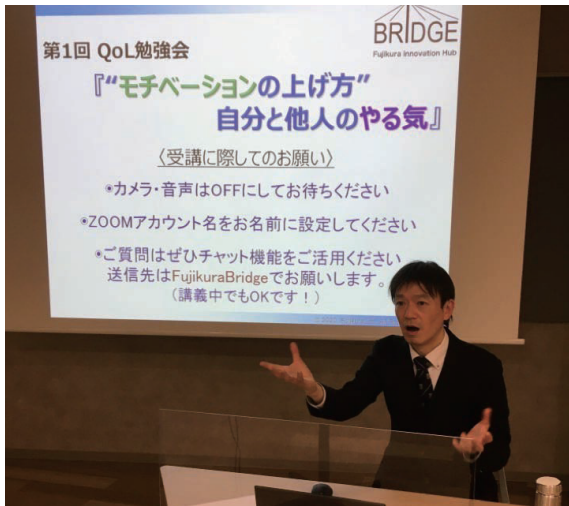
そこでまずはこのニューノーマルに対応するために必要なことを考え、コロナ禍のRe-Startと題し、働き方やQuality of Life (QoL) について考えるオンラインセミナーを企画し

ました。テーマは「モチベーション」「健康管理」「コミュニケーション」の三つです。

昨年11月に第1回を実施し「モチベーション」をテーマに精神科の医師によるセミナーを開催しました。現在人々の精神面ではどのような変化が起きているのか、ニューノーマルへの移行に際し、どういった精神的状態に注意すべきかなど、最新の医学的根拠に基づいて講義いただき、学びの多いものとなりました。なお2回目は、免疫力を高める薬膳をテーマに「健康管理」について、3回目はリモート時代における「コミュニケーション」について学びます。

BRIDGEは今後も社会環境に応じて柔軟にイノベーション文化の醸成、価値共創に貢献していきます。

### ● 精神科医師による「モチベーション」セミナー



つなぐみらいイノベーション推進室 [ask-bridge@jp.fujikura.com](mailto:ask-bridge@jp.fujikura.com)

**Fujikura** 株式会社フジクラ Fujikura Ltd.

“つなぐ”テクノロジー 製品ニュース No.474  
発行:2021年2月 編集兼発行責任者:森本 朋治  
〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1  
<https://www.fujikura.co.jp>

営業企画部 TEL:03-5606-1092  
関西支店 TEL:06-6364-0373  
中部支店 TEL:052-212-1880  
東北ブロック TEL:022-266-3344  
九州ブロック TEL:092-291-6126

